

JOYN



SMART STATION

型番：J001-BK,J001series

取扱説明書

保証書付



このたびはお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお
使いください。
本書は紛失しないように車の中に保管してください。

CYBER STORK
REAL MATERIAL




安全上のご注意 必ずお守りください

お客様や他の方々への危害および財産への損害を未然に防ぐために、かならずお守りいただきたいことを以下でご説明します。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	注意 (警告を含む) しなければならない内容です。
	禁止 (やってはいけないこと) の内容です。
	必ず行っていただきたい内容です。

接続・取り付け

警告



禁止

本機は、DC12V ⊖アース車専用です。

24V 車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない。

エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない。

交通事故やケガの原因となります。

電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取らない。

電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

取り付けには保安部品 (ステアリング、ブレーキ、タンクなど) のボルトやナットは絶対に使用しない。

これらを使用すると、制動不能や発火、交通事故の原因となります。

警告



強制

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する。
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する。
誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

コードが金属部に触れないように配線する。
金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

注意



禁止

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない。
内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

本機の通風口や放熱板をふさがない。
内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コード類は絶対に途中で切断しない。
コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

使用方法

警告



禁止

運転者は走行中に操作をしない。
前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

液体で濡らさない。
発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

音が出ない、音声が割れる、歪むなどの異常・故障状態で使用しない。
思わぬ事故や火災、感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、コードが、本機に触れないようにする。
落雷による感電の危険性があります。

警告



分解禁止

分解や改造をしない

交通事故や火災、感電の原因となります。



強制

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア）のヒューズを使用する。

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

注意



禁止

本機は車載用以外で使用しない。

発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。



指のケガに注意

アンプの放熱部に手を触れない。

やけどの原因となることがあります。



強制

音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



強制

万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店か弊社に相談する。

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

目次

はじめに	7
本機の特徴.....	7
バッテリー上がりを防ぐために.....	7
基本操作	7
各部の名称と主な働き	7
コントローラーの表示	8
電源の入 / 切をする.....	8
音源を切り替える	9
音量を調節する.....	9
groove 機能について	9
低音増強、小さな音でも聞きやすくする (ラウドネス機能)	9
Bluetooth で音楽を聴くまたはハンズフリー通話を行う	10
Bluetooth 機器を登録する (ペアリング).....	10
Bluetooth で音楽を聴く	12
ハンズフリー通話をする	13
Bluetooth を 接続または切断する.....	14
外部機器 (AUX) の音声を聴く	15
接続する.....	15
再生する.....	15
その他の機能.....	17
USB 充電をする	17
Auto Gain Control(オート・ゲイン・コントロール) 機能.....	17
良い音で聴くために	17
接続 / 取り付け	18
接続 / 取り付け上のご注意	18
接続 / 取り付け部品を確認する	18
取り付け前に知ってほしいこと	19
バッテリー交換時のご注意	20
接続する.....	20
本体を取り付ける	25
コントローラーを取り付ける	26

動作を確認する.....	27
ハンズフリーマイクの取り付け.....	27
付録.....	29
故障かな?と思ったら.....	29
保護回路について.....	31
主な仕様.....	32
付属品.....	33
保証とアフターサービス.....	34
認証について.....	34
保証書.....	35

はじめに

本機の特徴

■ Bluetooth 機器の接続

Bluetooth 機器を使ってオーディオ機能を使用したり、携帯電話を使用してハンズフリー通話ができます。

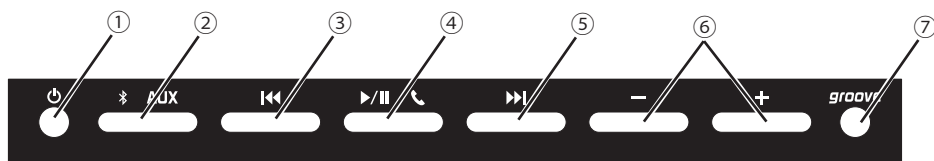
バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON（または ACC）にしないでください。バッテリーが上がるおそれがあります。

基本操作

各部の名称と主な働き

■ コントローラー



- ① ① ボタン
長押しすると本機の電源がオンまたはオフします。
- ② ② * AUX ボタン
押すごとに、2つの入力 (Bluetooth または外部入力) が切り替わります。
* または AUX のどちらかのインジケータが点灯します。
- ③ ③ ③ ボタン
Bluetooth 再生中に押すと巻き戻し (長押し) / 曲戻し (短押し) を行うことができます。
- ④ ④ ▶/|| 📞 ボタン
Bluetooth 再生中に押すと再生 / 一時停止が切り換わります。電話がかかってきたときに押すと、ハンズフリー通話ができます。

⑤ **▶▶** ボタン

Bluetooth 再生中に押すと早送り (長押し)/ 曲送り (短押し) を行うことができます。

⑥ 音量調整ボタン (+ / -)

音量を調整します。

⑦ groove ボタン

音質を補正します。

ボタンの短押しで低音増強 (弱) → 低音増強 (強) → ラウドネスオン → フラット (groove オフ) に変わります。

コントローラーの表示



【インジケーターの意味】

	電源オン中はボタンが赤く点灯します。
	Bluetooth が選択された時に青点灯 (Bluetooth 接続済み) または青点滅 (Bluetooth 未接続) 状態になります。 AUX ボタンを長押しすると早い点滅 (Bluetooth ペアリング待ち) に変わります。
AUX	入力で AUX (外部機器) を選択時に赤く点灯します。
	電源オン中は常時点灯します。
	電源オン中は常時点灯します。
	Bluetooth のハンズフリープロファイルに対応した機器と接続された場合に緑点灯します。
	電源オン中は常時点灯します。
+	電源オン中は常時点灯します。
-	電源オン中は常時点灯します。
groove	groove 機能がオン中は groove ボタンが赤く点灯します。

電源の入 / 切をする

本機の電源を入または切します

① 電源ボタンを長押しします。

本機の電源がオフ時にボタンを長押しすると電源がオンし、電源がオン時に長押しすると電源がオフします。

音源を切り替える

音源を切り替える

✳️ AUX ボタンを押すことで Bluetooth 機器または外部機器 (AUX) のいずれかの音源に切替えることができます。

- ① 本機の電源を入れる。
- ② ✳️ AUX ボタンを押して音源を切り替える。

音量を調節する

Bluetooth オーディオ再生時やハンズフリー通話、および外部入力による再生時の音量調整を行います。

- ① 音量+を押すと音量が大きくなります。-を押すと音量が小さくなります。
+または-ボタンを長押しすると連続して音量ステップが変化します。

groove 機能について

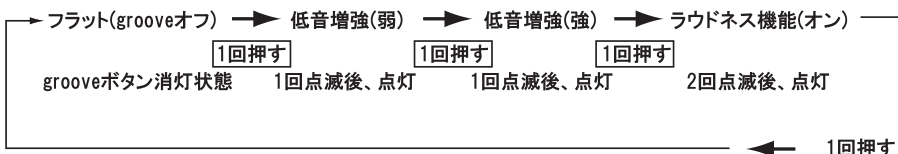
バスブースト機能…低音増強 (弱) / 低音増強 (強)

…再生中の低音を増強させることができます。

ラウドネス機能

…小さな音量で聞いていると、低音や高音が不足しているように感じる場合があります。この不足感を補って音を聞きやすくすることができます。

再生中に groove ボタンを押します。ボタンを押すごとに以下のように状態が変化します。作動中は、赤く点灯します。



Bluetooth で音楽を聴くまたはハンズフリー通話を行う

Bluetooth 対応スマートフォンなど Bluetooth 対応機器を本機に登録することで Bluetooth による音楽再生やハンズフリー通話を行うことができます。

[メモ]

本機は以下の対応プロファイルに対応しています。登録する Bluetooth 機器が以下のプロファイルに対応しているかどうかをご確認ください。

プロファイル	説明
A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)	音声データの再生に必要なプロファイルです
AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)	再生、一時停止に必要なプロファイルです。
HFP(Hands Free Profile)	ハンズフリー操作に必要なプロファイルです。

Bluetooth 機器を登録する (ペアリング)

Bluetooth による音楽再生やハンズフリー通話を行うには、はじめに Bluetooth 対応機器を本機に登録する必要があります。登録するにはペアリング (Bluetooth 機器をお互いに登録し、登録された機器との接続を許可する操作) を行う必要があります。

- ① 本機が電源オン中に **✳** AUX ボタンを押して **✳** を選択します。
- ② **✳** インジケーターが早い点滅に変わるまで **✳** AUX ボタンを長押しします。
- ③ **✳** インジケーターが早く点滅中に Bluetooth 対応機器の Bluetooth 通信を有効 (オン) にして、Bluetooth 端末リストから「JOYN-J001」(本機)を検索します。

[メモ]

本機が Bluetooth 端末リストで見つからない場合は、検索ボタンを押して再検索を行ってください。

- ④ Bluetooth 端末リストから「JOYN-J001」(本機)を選択します。
ペアリングが開始されます。
ペアリングが完了すると、ブザー音の後に本機の **✳** インジケーターが点灯状態に変わります。


[メモ]

- ペ어링待ち状態 (※ インジケーターが早く点滅) で約 150 秒間経過すると ※ インジケーターがゆっくり点滅状態 (Bluetooth 接続待ち) に変わります。再度ペ어링を行う場合は、※ AUX ボタンを長押しして、※ インジケーターが早く点滅した状態でペ어링してください。
- 本機に登録できるペ어링機器は最大 5 件までです。
6 件目の機器が登録された場合には、接続履歴の古い順にペ어링履歴が消去されます。
- Bluetooth 接続待ち状態 (※ インジケーターがゆっくり点滅) では、本機に登録された機器からの接続要求を受け付けます。
- 電源オン時に入力が ※ であった場合、最後に接続した Bluetooth 機器に対して本機から自動接続が行われます。自動接続が完了しなかった場合は、本機に登録された機器のうち、接続要求がきた機器と接続を行います。
- 本機の電源をオフすると、Bluetooth 接続は切断されます。

【ペ어링または接続がうまくいかないときは】

- 再生機器側の Bluetooth 通信をオフ→オンしてから、再度接続を行ってください。
- 再生機器側の本機とのペ어링を解除し、再度ペ어링から行ってください。
- 上記を行っても接続できない場合は、本機の接続履歴もすべて消去してから再度ペ어링から行ってください。

■接続履歴の消去方法

- ①  ボタンと groove ボタンを約 2 秒間同時に押します。


Bluetooth で音楽を聴く

機器登録 (ペアリング) が完了したら、Bluetooth による音楽再生をお楽しみいただけます。

- ①再生前に本機の音量－ボタンを押し、音量を最小にします。

突然大きな音量で再生されることを防ぎます。

音量－ボタンを押し続けると、連続で音量ステップが下がります。最小音量になると、インジケーターが 1 回点滅します。

- ②  インジケーターが点灯していることを確認し、Bluetooth 対応機器の音楽ファイルや動画ファイルを再生します。インターネット動画の音声も聴くことができます。

[メモ]

 インジケーターが点滅している場合、再生機器側との Bluetooth 接続がされていません。

再生機器側の Bluetooth 状態を確認し、本機との接続が“接続済み”になっているかどうかをご確認ください。

- ③再生機器側の音量を最大にします。

[メモ]

この時点では本機の音量が最小となっているため、音が出ません。

- ④本機の音量＋ボタン押して、音量を上げます。

[メモ]

再生機器側で音量調整を行った場合と本機の音量＋／－ボタンで音量調整した場合の音量は、それぞれ独立しています。

バスブースト (低音増強) 機能やラウドネス機能がオン状態で、本機の音量値が最大近くになっているとアンプ保護機能が働き、バスブースト (低音増強) 機能やラウドネス機能が十分に働かない可能性があります。そのため、音量調整時は、再生機器側の音量を最大にしてから本機の音量＋／－ボタンで調整を行ってください。

[再生中の操作]

ボタン	操作	動作内容
▶/	短押し	ボタンを押すごとに再生 / 一時停止が切り換わります。
◀◀	短押し / 長押し	短押しで再生中の曲の始めに戻り、もう1度押しと前の曲に戻ります。長押しで再生が巻き戻されます。
▶▶	短押し / 長押し	短押しで次の曲に移ります。長押しで再生が早送りされます。
+	短押し / 長押し	短押しで1ステップ音量が上がります。長押しで連続的に音量が上がります。
-	短押し / 長押し	短押しで1ステップ音量が下がります。長押しで連続的に音量が下がります。
groove	短押し	1回押すごとに低音増強(弱)→低音増強(強)→ラウドネス(オン)→フラットに戻ります。

ハンズフリー通話をする

本機では HFP(Bluetooth によるハンズフリー通話のためのプロファイル)に対応した携帯電話でハンズフリー通話を行うことができます。ハンズフリー通話には本機に接続されたマイクを使用します。

[メモ]


- ・携帯電話を使用するときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。
- ・初めて本機で携帯電話を使用する場合は、携帯電話を本機に登録する必要があります (→P 10)。
- ・組み合わせる Bluetooth 対応の携帯電話によっては、操作や動作が異なります。携帯電話の取扱説明書も併せてご覧ください。

①電話がかかってきたら、▶/||  ボタンを押します。


電話がつながり、通話ができます。

[メモ]

音量の調整は本機の音量+ / - ボタンで調整することができます。

②通話が終了したら、もう一度 ▶/||  ボタンを押します。

電話が終了します。


③電話がかかってきた時、▶/||  ボタンを長押しすると、「着信拒否」になります。

Bluetooth を 接続または切断する

本機に登録された Bluetooth 機器との Bluetooth 接続および切断を行います。


≪接続≫

- ① スマートフォンなど本機に登録された Bluetooth 機器側の Bluetooth 通信を有効 (オン) にして、Bluetooth 端末リストから登録済み (ペアリング済み) の本機を選択します。

本機との Bluetooth 接続が開始され、接続が完了すると、本機の  インジケーターが点灯 (接続完了状態) に変わります。

≪切断≫

- ① Bluetooth 機器側の Bluetooth 端末リストから接続済みの本機を選択します。

切断が完了すると、本機の  ランプがゆっくり点滅 (接続待ち状態) に変わります。

[メモ]

iPhone、iPod、iPad では、Bluetooth 通信の無効 (オフ) 操作によって Bluetooth 通信が切断されます。

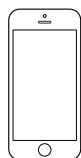
外部機器 (AUX) の音声を聴く

本機にポータブルオーディオ機器やVTRなどの外部機器を接続して、外部機器の音声を本機で聴くことができます。

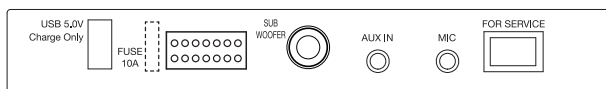
接続する

ポータブルオーディオ機器 (スマートフォン) などのイヤホン出力端子と本機の「AUX」端子を市販のステレオミニケーブルで接続します。

ポータブルオーディオ機器



本体背面



再生する

①本機が電源オン中に **✳** AUX ボタンを押して AUX を選択します。

[メモ]

- 本機に外部機器を接続するには、本体背面にある AUX 入力端子に市販のステレオミニプラグ (3.5mm) ケーブルを差し込みます。
- 音量の調整は本機の音量+ / - ボタンで調整できます。
- 入力が AUX の場合でも、電話がかかってきたらハンズフリー通話ができます。ハンズフリー通話中は外部機器の音声はスピーカーから出力されません。ハンズフリー通話が終了すると、外部機器の音声出力に戻ります。
- ステレオミニプラグケーブルは抵抗なしタイプをお使いください。抵抗ありタイプですと、音量を上げてても小さい音量でしか出力されません。

ハイレゾ対応について

本機はアナログ再生におけるアンプの高域再生性能が 40kHz までとなっており、ハイレゾ対応製品となります。

<こんなことができます>

スマートフォンなどと接続する際、ステレオミニプラグ (4 極) ケーブルを使うことで本機のボタンにて以下の操作ができるようになります。接続する機器によっては、操作ができない場合もあります。

ステレオミニプラグ (3 極) ケーブルで接続された場合は、接続機器に関わらず以下の操作はできません。



市販のステレオミニプラグ (4 極) ケーブル

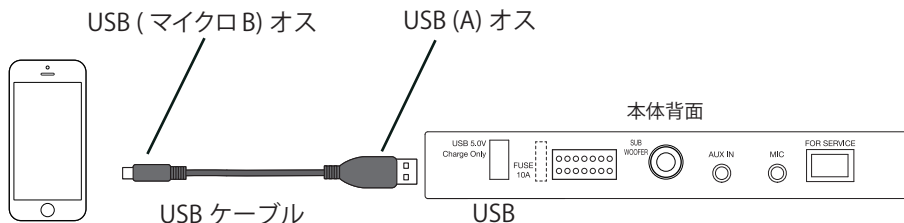
ボタン	操作	動作内容
▶/	短押し	ボタンを押すごとに再生 / 一時停止が切り換わります。
◀◀	短押し	短押しで再生中の曲の始め、または前の曲に戻ります。 (接続機器側の仕様に依存します。)
▶▶	短押し	短押しで次の曲に進みます。

CTIA 規格に対応したスマートフォンに対応しています。OMTP 規格には対応していません。

その他の機能

USB 充電をする

背面の USB 端子にスマートフォンなどを USB 接続することで USB 充電を行うことができます。※ DC5.0V・2.1A



スマートフォンなど

Auto Gain Control(オート・ゲイン・コントロール) 機能

スピーカー出力が歪んだ場合、自動的にゲインを下げます。出力が歪まないレベルに到達したら、少しずつゲインを戻していきます。

良い音で聴くために

スマートフォンの音量をできる限り大きくし、JOYNのボリュームコントロールで音量を調整してください。スマートフォン側の出力レベルを落とすとダイナミックレンジ不足により、音質悪化の原因となります。

但し、スマートフォンの機種によって歪みが発生する場合があります。JOYNの入力最大レベルは1.1vrms 以下。スマートフォン側をボリューム最大にして歪みが発生する場合には、スマートフォン側のボリュームを歪みが発生しないところまで下げてご使用ください。

接続 / 取り付け

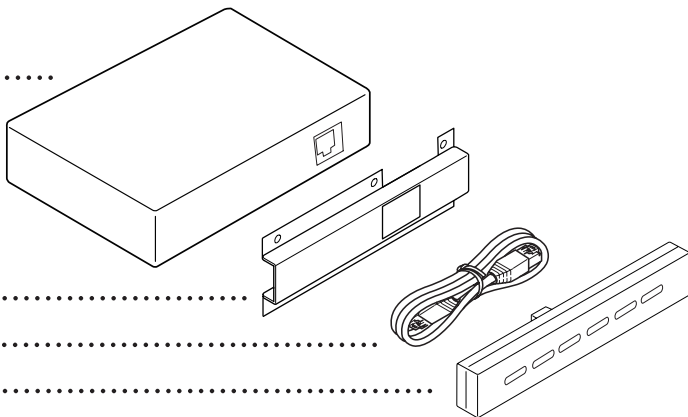
接続／取り付け上のご注意

- ・ 接続する前に、必ず車のバッテリーの⊖端子を外してください。
- ・ 車への取り付けは、必ず本書に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。
- ・ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

接続 / 取り付け部品を確認する

■本体関係

本体×1



ブラケット × 1

LAN ケーブル×1

コントローラー × 1

トラスネジ (5 mm × 8 mm) × 4



皿ネジ (5 mm × 8 mm) × 4



ナベネジ (3 mm × 6 mm) × 6

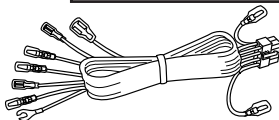


コードを接続するため、市販のオーディオハーネスを別途ご用意ください。

■コード関係

電源コード × 1

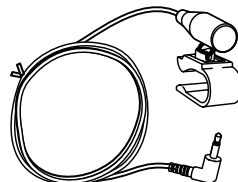
USBコード × 1



■マイク関係

ハンズフリー用マイク × 1

両面テープ (15 mm × 12 mm) × 1



取り付け前に知ってほしいこと

■取り付け上のご注意

- ・必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、確実に固定できずに外れたりして危険です。
- ・本機の性能を確実に発揮するために、水平に対して 60 度以内の角度で取り付けてください。

■取り付けのポイント

取り付け、固定する前に、

- ・まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

■接続上のご注意

- ・本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディの金属部に確実に接続してください。
- ・本機は、エンジンスイッチに ACC がない車では使用できません。必ず、エンジンスイッチに ACC がある車でご使用ください。
- ・赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- ・本機のアンプには BTL という回路を使用しています。
- ・スピーカーのリード線をアースに接続したり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続したりしないでください。
- ・本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力 25 W 以上のハイパワー用で、インピーダンスが 4 Ω から 8 Ω のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- ・黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となるおそれがあります。

■コネクター着脱のポイント

- ・コネクターは、「カチッ」と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。
- ・コネクターを外すときは、コネクター部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。

バッテリー交換時のご注意

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。
また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON（または ACC）にしないでください。
バッテリーが上がるおそれがあります。

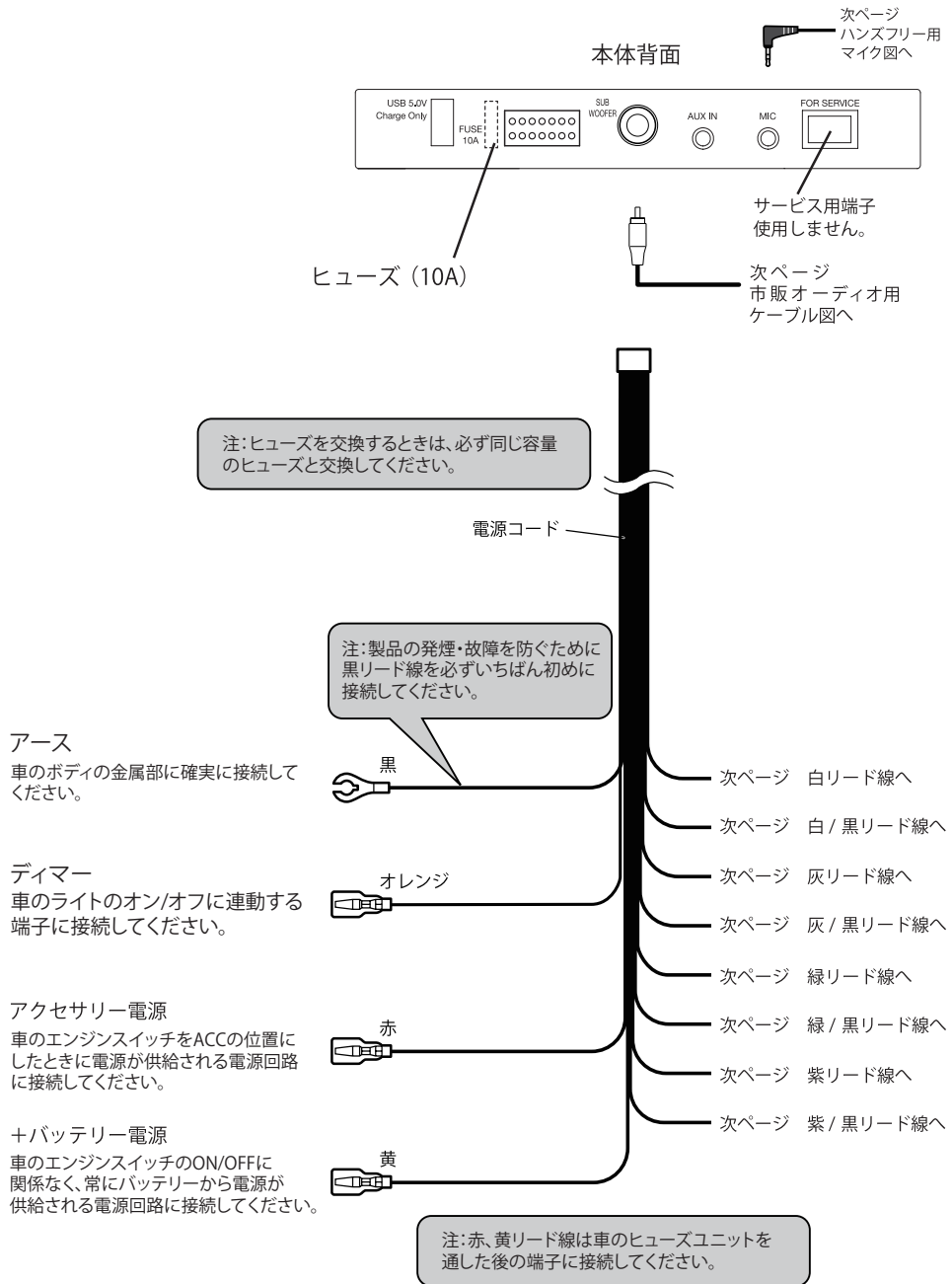
[メモ]

車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、VOLUME などの設定内容は消去されます。
その場合は、再設定を行ってください。

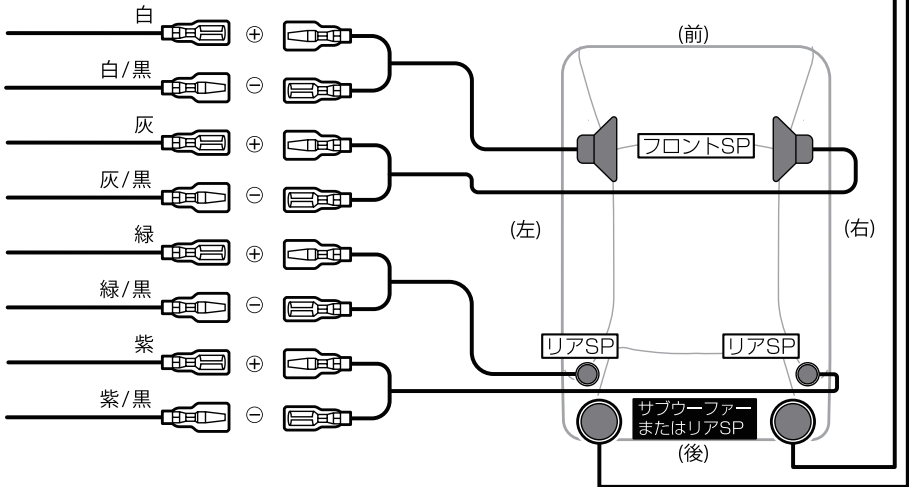
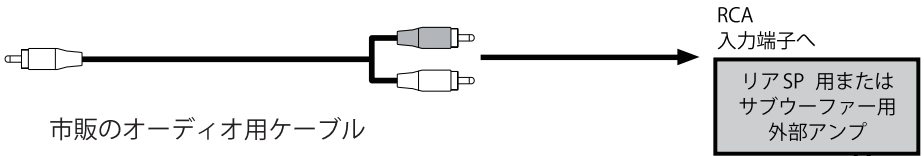
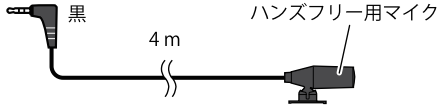
接続する

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■本機のスピーカーリード線にリアスピーカーを接続する場合

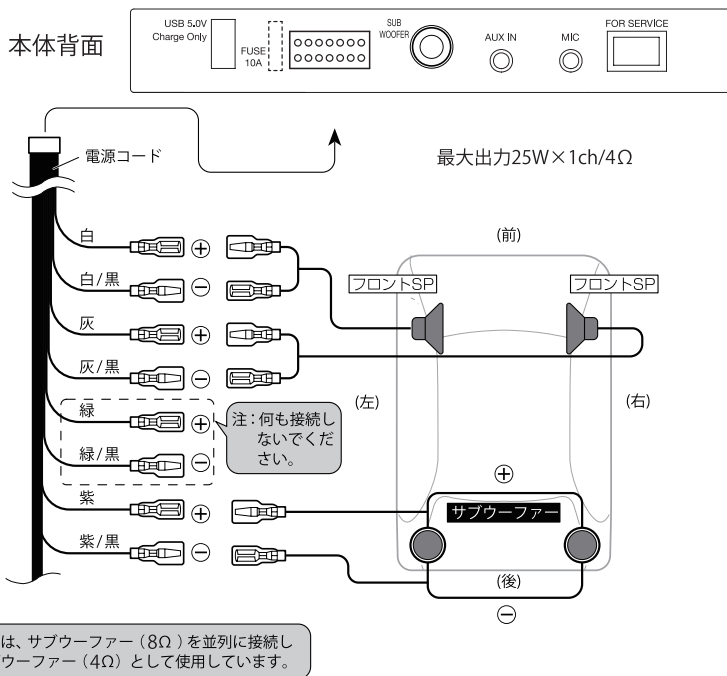


注：サブウーファー出力端子に接続する場合は必ずアクティブスピーカーにつないでください。カットオフ周波数は 200 Hz です。その他の設定はサブウーファー側で行なってください。



注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。

■本機のスピーカーリード線にサブウーファーを接続する場合 (3)

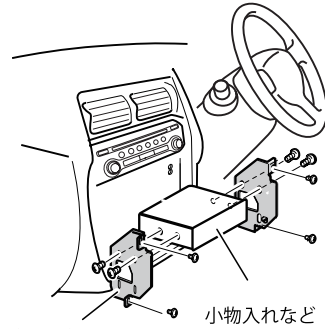


本体を取り付ける

トヨタ車、日産車への取り付け例です。

①車の小物入れなどを取り外す。

小物入れなどを取り外し、それらを留めているオーディオブラケットを取り外します。そのオーディオブラケットを使用して、本機を取り付けます。



オーディオブラケット

[メモ]

取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、ディーラーにお問い合わせください。

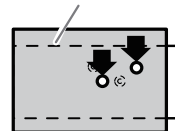
②ネジ留めする位置を確認する

オーディオブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。

オーディオブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

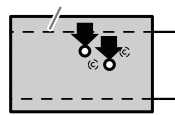
トヨタ車の場合

トヨタ車 オーディオブラケット



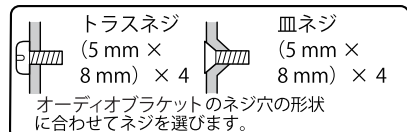
日産車の場合

日産車 オーディオブラケット

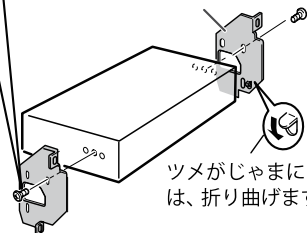


③オーディオブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ留めして、元通り車に取り付けます。



※ オーディオブラケットの穴位置が合わない場合は、汎用ブラケットをご用意ください。

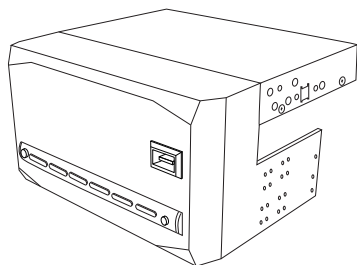
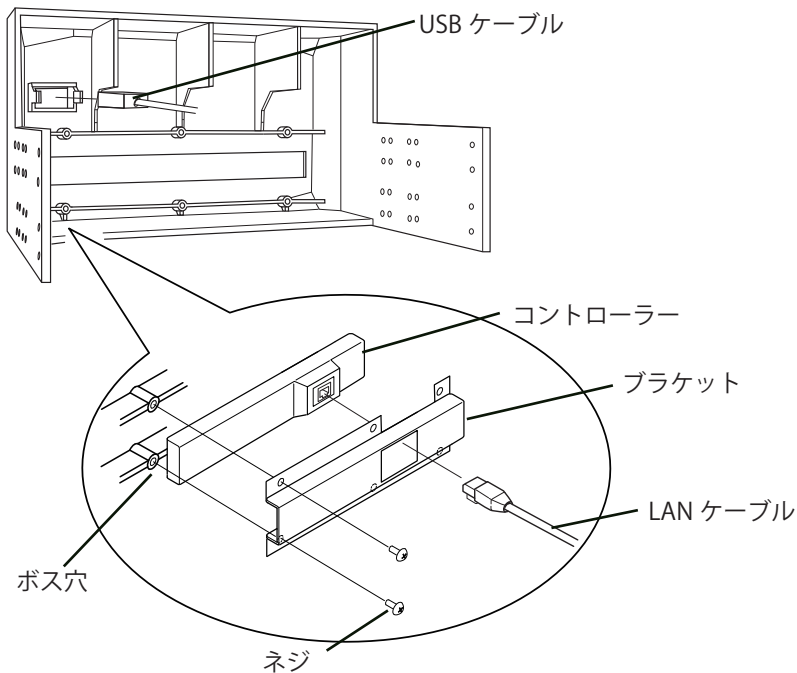


ツメがじゃまになるときは、折り曲げます。

コントローラーを取り付ける

2 DIN 用化粧パネル（別売）への取り付け例

- ①コントローラーをブラケットにはめ込んだ後、ブラケットを付属の6ヶのナベネジで化粧パネルのボス穴にネジ留めます。
- ②LANケーブルの一端のプラグをコントローラーのコネクタに差し込みます。
- ③LANケーブルのもう一端のプラグを本体のコネクタに差し込みます。
- ④付属のUSBケーブルを化粧パネルのUSBコネクタの差し込み口に差し込みます。



1 DIN 用化粧パネル（別売）利用時も同様にコントローラーを設置してください。
パネルを利用しない場合は、運転の妨げにならない場所にコントローラーを設置してください。

動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

①接続／取り付けをもう一度確認する

[メモ]

接続／取り付けに誤りがないか、各コネクターは確実に接続されているかもう一度、目で見て確認してください。

②車のエンジンをかける

③本機の動作を確認する

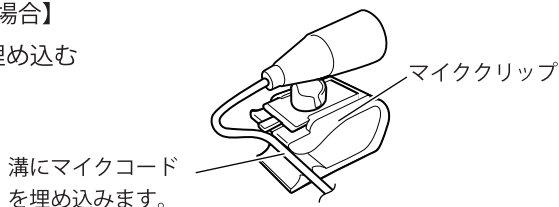
ハンズフリーマイクの取り付け

[メモ]

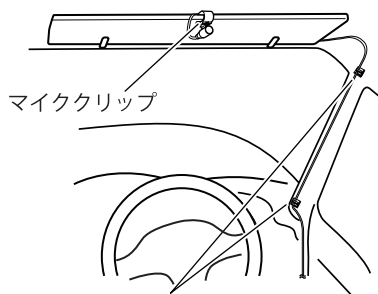
ハンズフリー時に明瞭な音質を得るために、マイクはできるだけドライバーの近くに取り付けてください。また、エコー（反響音）を軽減するため、なるべく車のスピーカーから離れた位置に設置してください。

【サンバイザーにはさんで取り付ける場合】

①マイククリップにマイクコードを埋め込む



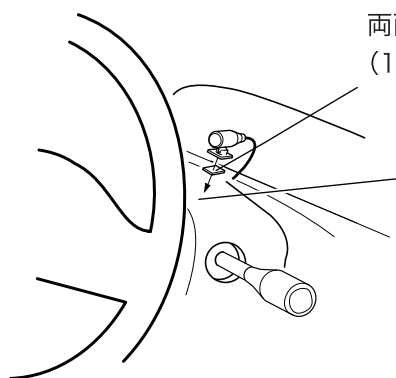
②サンバイザーにマイククリップを挟み込み、マイクを取り付ける



クランパー（市販品）などを利用して、運転操作に支障がないようにマイクコードを引き回します。

【ステアリングポストに取り付ける場合】

①ステアリングポストにマイクを取り付ける



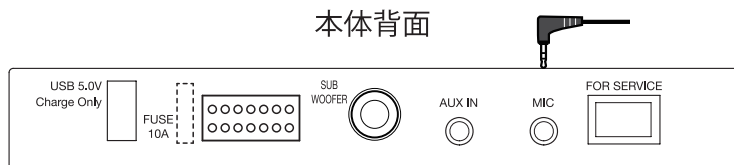
両面テープ
(15 mm × 12 mm)

ステアリングポストの
できるだけ手前に取り
付けてください。

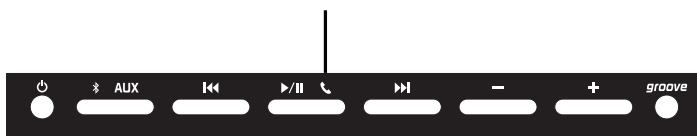
マイクコードは、運転に支障がないように固定
してください。

【本体とマイクを接続する。】

本体背面のMICジャックにマイクコードを接続する。



電源オン時に、ブルートゥース接続後、コントローラーの緑の電話マークが点灯
します と、ハンズフリー通話をご利用いただけます。



故障かな？と思ったら

以下の表にて、問題が解決できなかった場合は、「保障とアフターサービス」をお読みになり、修理を依頼してください。

■ 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。 車両のバッテリーのマイナス端子を外して、1分後に再接続してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものと交換してください。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	再生機器の音量を調節してください。
一部のスピーカーから音が出ない。	スピーカーリード線にスピーカーが正しく接続されていない。	スピーカーが正しく接続されているか、もう一度確認してください。
本機が誤動作する。 雑音が入る。	携帯電話などの電波発信機器を本機に近づけて使用している。	電波発信機器を本機から離してご使用ください。
音量が自動的に下がってしまう。	音量の上げすぎによりAuto Gain Control(自動ゲイン制御)機能が働いた。	音量を下げてください。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	外部機器(AUX)側の音量を調節してください。
	抵抗入りのオーディオケーブル(ステレオミニプラグケーブル)を使用している。	抵抗なしのオーディオケーブルを使用してください。

■ Bluetooth

症状	原因	処置
ペアリングができない。	<p>周囲の電波干渉を受けている可能性があります。</p> <p>本機の Bluetooth インジケータが点灯またはゆっくり点滅している。</p>	<p>電波干渉の少ない場所でもう一度ペアリングを行ってください。</p> <p>「Bluetooth 機器を登録する (ペアリング)」(10 ページ) の手順をお試しください。</p>
接続できない。	他の機器とすでに接続されている可能性があります。	<p>接続済みの機器の Bluetooth 通信を切断してから接続を行うか、または</p> <p>✳ AUX ボタンを長押しして、✳ インジケータが早く点滅した状態で再度接続を行ってください。</p>
音がでない。	接続が切れている可能性があります。	再接続を行ってください。
音が途切れる。	<p>接続機器との間に障害物がある可能性があります。</p> <p>2.4 GHz 帯の周波数を使用する無線、無線 LAN、他の Bluetooth オーディオ機器の影響を受けている可能性があります。</p> <p>他のアプリの影響を受けている可能性があります。</p>	<p>金属、人体、壁などの、障害物を取り除いてください。</p> <p>他の機器の機能をオフにしてください。 Wi-Fi 機能をオフにしてください。</p> <p>音楽再生アプリ以外のアプリを終了してください。</p>

保護回路について

異常を検知した場合、保護回路が働き、本機の電源がオフします。

その際、 ボタンが点滅しますが、検知状態によって  ボタンの点滅状態も変わります。

点滅状態	原因	処置
早い (※1)	アンプの温度、電圧に異常が起きている。	販売店へお問い合わせください。
早い (※2)	スピーカーケーブルがショートしている、あるいは瞬間的な過大出力が発生した。	スピーカーケーブルの接続を確認する、または音量を下げてからもう一度本機の電源を入れてください。それでも解決しない場合は、販売店へお問い合わせください。
ゆっくり (※3)	アンプの温度が上昇している。	音量を下げ、groove をオフにしてからもう一度本機の電源を入れてください。それでも解決しない場合は、販売店へお問い合わせください。

※1 電源オン時の ボタンの点滅速度より早い

※2 電源オン時の ボタンの点滅速度と同じ

※3 Bluetooth 未接続時の点滅速度と同じ

主な仕様

型番：J001. J001-BK

○共通部

使用電源：..... DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式：..... マイナスアース方式

最大消費電流：.....10.0 A

外形寸法 約

(本体寸法) (W) 178mm (H) 25mm (D) 120mm

(コントローラー寸法) (W) 150mm (H) 24mm (D) 25mm

質量：..... 618g (コード含まず)

○アンプ／オーディオ部

[最大出力] 25 W × 4 ch / 4 Ω

[定格出力] 22 W × 4 (50 Hz ~ 20,000 Hz、5 %THD、4 Ω load、Both Channel Driven)

[周波数特性] 5Hz ~ 40,000Hz (AUX IN 時)

[負荷インピーダンス] 4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω 使用可能)

[サブウーファーアウト最大出力レベル] 2.1 V

[出力インピーダンス] 1 k Ω

[ラウドネスコンター] 10 dB (60 Hz) 6.5 dB (10 kHz) (ボリューム：- 30 dB)

[サブウーファー出力]

カットオフ周波数：..... 200Hz

スロープ：..... - 12 dB / oct.

○Bluetooth 部

[Bluetooth バージョン] Bluetooth 3.0 + EDR

[出力] 最大 +4dB m (Power class2)

[対応プロファイル] A2DP1、AVRCP、HFP

[対応コーデック] SBC

○USB

DC5.0V、2.1A 充電専用

付属品

コントローラー	1
コードユニット	1
ケーブル (LAN、USB).....	各 1
ハンズフリー用マイク	1 式
取付ネジ類	1 式
ブラケット	1
取扱説明書、保証書 (本書).....	1

- 本書に記載している寸法・重量などは、実際の製品と異なる場合があります。
実際の製品の仕様は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名が捺印されていることをお確かめの上、保管ください。または、販売店レシートを保証書とともに保管ください。

■保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■修理について

故障が生じた場合は、保証書に記載してある当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または弊社にご連絡ください。

発送になる場合は、送料はお客様負担となります。(保証期間内含む)

■保証期間経過後の修理について

お見積もり後に、部品があり、修理可能な場合は修理対応いたします。お買い上げの販売店または弊社にご連絡ください。

■保証外

車から取り外す際の時間、工賃、その他への影響については一切の責任を負いかねます。保証は、該当製品のみに適応となります。

認証について

●本製品は、電気通信事業法に基づく設計認証を取得しています。



T A16-0002005

●本機内蔵の通信モジュールは、電波法に基づく設計認証を取得した特定無線設備を使用しています。



R 005-101173

JOYN SMART STATION

保証書

型番：J001
J001-BK

お名前

ご住所

電話番号

販売店住所 店名印もしくは、購入レシート、購入納品書

製品お買い上げ後 1 年間に限り、該当製品を無償で修理いたします。
中古販売や個人売買などによる商品の購入は保証対象外となります。

品質保証

- * 該当製品を修理致します。(修理不能な場合は同等の製品と交換する場合があります)
- * お買い上げ店舗、または、弊社にお問い合わせの上、お送りください。送料は、お客様負担となります。

保証対象外事項

保証期間内でも、次の場合には有償修理となります。

- * 本書のご提示が無い場合
- * 本書にお買い上げ日・販売店名の記入が無く、レシート等の購入証明も無い場合
- * 本書のお買い上げ日の記入事項を販売店の子承を得ることなく訂正した場合
- * お客様による輸送・移動時の落下・衝撃等、お取り扱いが適正でないために生じた事故・損傷
- * 製品マニュアルに従わない使用方法、誤装着、過失、改造、不適切な設置、他のパーツに起因する故障、損傷などが認められた場合
- * 火災・公害・異常電圧・地震・雷・風・水害・天災地変等に起因する故障や損傷

本保証規定に規定されていないその他の保証を、理由を問わず一切致しません。

- * 作業時間、作業代金、事業利益の損失、その他の金銭的損害を含む。
- * 本製品を使用した結果生じた他の機器への影響は、一切責任を負いません。

CYBER STORK
REAL MATERIAL

株式会社サイバーストーク 岐阜県恵那市大井町2087-524
電話: 0573-25-6137 Email: info@cyberstork.com

<http://www.cyberstork.com>

販売元

岐阜県恵那市大井町 2087 - 524

株式会社サイバーストック

電話 0120-979-512